

令和6年度 シラバス

【総合的な探究の時間B】

11 新潟県立新潟翠江高等学校（通信制課程）

履修区分	単位数	レポート提出回数	最低出席時数	試験回数
必修	2	2	2	0
教科書			学習書・その他教材	
なし			副教材： 問いづくりトレーニング（東京書籍）	

グラデュエーション・ポリシー	～卒業までにこのような資質・能力を育みます～ ①生涯にわたって自ら意欲的に学び続け、目標に向かって努力する態度を育成します。 ②互いの人権や考えを尊重し、命を大切にする心と行動力を育成します。 ③社会的・職業的自立に必要な勤労観や職業観を育成します。
カリキュラム・ポリシー	～上記の資質・能力を育成するため、このような教育活動を行う～ ①多様な生徒の学習歴や興味・関心に合わせた科目選択ができる教育課程を編成します。 ②思考力・判断力・表現力の獲得を目指した、学びを充実させる丁寧な面接指導(スクーリング)を行います。 ③生徒が自学自習しやすい報告課題(レポート)を作成し、生徒の学びを深める丁寧な添削指導を行います。 ④放送視聴や平日校外スクーリングなど、通信制の特徴を活かした多様な学び方を促します。 ⑤コミュニケーション能力の伸長を図るため、生徒交流会や運動会、体験学習等の特別活動を行います。

学習目標

- (1) 探究の過程において、課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究の意義や価値を理解するようにする。
- (2) 実社会や実生活と自己との関わりから問いを見だし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。
- (3) 探究に主体的に取り組むとともに、新たな価値を創造し、よりよい社会を実現しようとする態度を養う。

学習内容

前期

第1回：持続可能な生産・消費を実現するには？
→第1回レポートの範囲です。

後期

第2回：みんなが必要な食料を手に入れるには？
→第2回レポートの範囲です。

学習方法

レポートの問題は、基本的に上記の副教材に沿って作成されているので、副教材をよく読んで解答してください。興味のある人は、自分でさらに発展的な学習をしてみてください。

各レポートには、NHKの高校講座を視聴した上で自ら課題を設定する問題があります。自ら課題を設定するとともに考察などできない場合は、レポートの再提出を求める場合があります。

評価の観点の趣旨		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
探究の過程において、課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究の意義や価値を理解しようとしている。	実社会や実生活と自己との関わりから問いを見だし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現しようとしている。	探究に主体的に取り組むとともに、新たな価値を創造し、よりよい社会を実現しようとする態度を養おうとしている。

評価方法		
各観点における評価方法は次のとおりです。		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
以上の観点を踏まえ ・レポートの内容の分析 などから、評価します。	以上の観点を踏まえ ・レポートの内容の分析 などから、評価します。	以上の観点を踏まえ ・レポートの内容の分析 などから、評価します。
内容のまとまりごとに、各観点「A：十分に満足できる」、「B：おおむね満足できる」、「C：努力を要する」で評価します。		

担当者からの一言
総合的な探究の時間は必修科目ですから、これが修得できないと卒業ができません。上の「評価方法」で述べたように、とにかく全レポートを提出し合格することと、2時間以上授業に出席することを心がけてください。